



1. 2階から見渡すリビング、木の温もりにじかに触れて遊ぶ兄妹。手すりにはフロストアクリル板を用いて光を拡散、開放感も向上。壁の時計は工務店店長と協同で取り付けた 2. 窓辺のスタディーカウンターは、整然とした収納美も見もの。奥さまのこだわりで「家中の物の量とサイズを調べ上げ、全てきれいに収まるよう造作してもらいました」

## 衛生習慣と家事をスムーズにする間取り

Sさん夫婦が家づくりにあたり、まず要望したのは「外から帰ったらすぐに手を洗い、着替えてからLDKに入る」という一連の流れを完結できる間取りでした。

時は今から2年半程前、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され始めた頃。「たまたまタイミングが重なっ

## こんな家に住みたい

第756回 那覇市 Sさんの家

# 感染症対策しながら より快適に楽しく 新しい様式が光る、 スタイリッシュな木造住宅

余計なものは持ち込まない、  
家の中にもリビングにも。  
健やかですっきりとした暮らしを  
かなえた家は、誕生から約2年。  
ますます「家にいるのが1番!」と  
笑顔の日々が紡がれています。

## 爽やかな光の中で 刻まれるおうち時間

那覇市内の住宅街に新居を建てたSさんは、ご夫婦と小さなお子さん2人の4人家族、プラス愛猫1匹。第一子の出産を機にそろそろマイホームをと考えていた折、ご主人の実家の土地を受け継ぐかたちで家づくりが始まりました。

RC造も含め、各社の完成見学会に参加するなかで、家づくりに対する思いに多くと利便性を実感されている様子でした。

キッチンでは料理好きなご主人の要望で2列型を採用。機能的でデザイン性にも優れた仕様は、Sさんの家づくりのコンセプトにもマッチしています。ユニークなのは、階段下を有効活用して設計した猫ちゃんのゲージ。その扉には黒の鉄格子を用い、魅せる演出も高センス。

## 余剰が生み出す、 暮らしの安心と豊かな夢

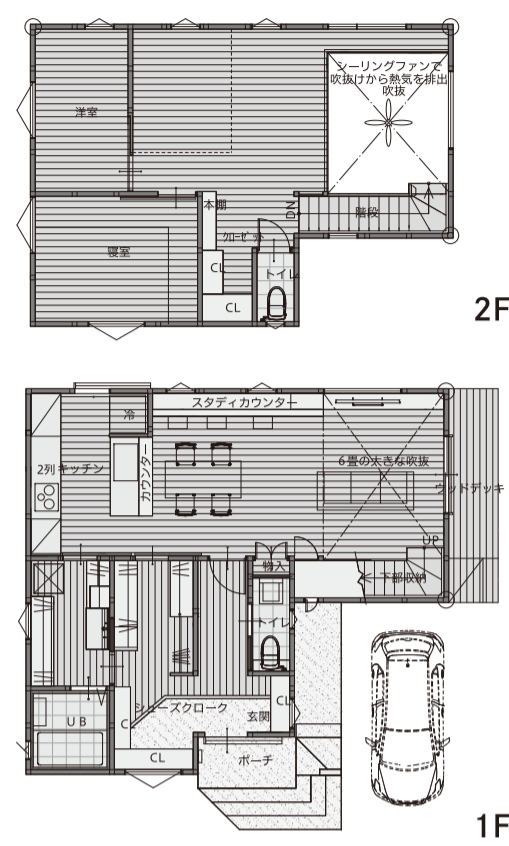
2階は吹き抜けに面した約11帖のセカンドリビングが広がり、主寝室、洋室1室、トイレ、オーブンクローゼットを配置。セカンドリビングは用途自由なスペースですが、将来は最大二つの子ども室を確保できるようです。また、洋室もコロナ対策の一つで、家庭内隔離が必要となった場合を見据えて設けられています。

入居から約2年、今の暮らし心地をたずねるとご夫婦そろって「家で過ごすのが一番楽しく、家に帰るのが楽しみです」と笑顔。くわえて、「いずれは庭の一部を畑にしてもいいかなって考えているんです」とも。そのあつきにはきつと、成長したお子さんたちと収穫を楽しみ、ご主人がキッチンで腕を振るう—Sさんファミリーのおうち時間はこれからも豊かさを増し続けていくことでしょう。



3. 2階は明るめのフローリングでよりナチュラルに。用途自由なセカンドリビングは今はお子さんのもう一つの遊び場。写真右奥の引き戸側が主寝室 4. 2階の物はまとめてここに収納。本棚も目隠しの奥に控える棚も、物に合わせて造作。計画的な収納プランは「奥さまとのコラボ」と設計担当者 5. 帰宅後はここ、サンタリーに直行。清潔感、透明感、インテリアもすてきな空間。洗濯動線も完結するユティリティールームでもある 6. 明るくスタイリッシュなキッチンアイテムもモノクロで統一。2列型はご主人の希望で「短い動線で作業性効率もアップ」と大満足 7. キューブを立体的に組み合わせたモダンな外観は、RC造住宅が並ぶ周辺にも調和。ダークブラウンの差し色と黒のアルミサッシで全体を引き締めた

施 工：琉球ストーク株式会社  
(担当/川口幸治)  
電 気：南電設  
水 道：金田設備  
キッチン：クリナップ



所在地：那覇市  
家族構成：夫婦 子ども2人  
設 計：HARMO design 株式会社(担当/岸田匡史)  
敷地面積：287.32㎡(約86.9坪)  
建築面積：66.27㎡(約20.0坪)  
延床面積：105.23㎡(約31.8坪)  
構 造：木造軸組工法  
用途地域：第二種中高層住居専用地域  
完成時期：2020年11月

の共通点があった設計会社に依頼を決定。唯一気になっていた木造の強度については一丁寧な構造説明でしっかりとクリアできたといえます。さらに「細かい要望にも丁寧に対応してくれて、一緒に作っていったという感じです」とご主人が改めて我が家を見渡します。

LDKはコンパクトながらも吹き抜けの効果で開放感あふれる気持ちいい空間に。間口の向こうには一面緑の庭が広がり、涼やかな光景が窓辺を彩ります。内装のポイントには壁の白を基調に、黒のアイアンなどでラインを挿した硬質感のあるモノトーン。ダークブラウンの木のフロアとの調和も絶妙で、ご夫婦のイメージ通りの仕上がり。そんなスタイリッシュでナチュラルな様相はご夫婦の雰囲気にも通じ、初対面ながらSさんらしい家という印象を強く受けました。

また、一面白の壁は豊富な採光プランと合わせ、家中に光を拡散。「電気に頼らない家にしたかった」というご主人の理想が実現されており、陽光を取り入れつつ熱は防く複層ガラスが採用されています。そのため、ダイニングの窓辺に設けられたスタディーカウンターは、陽光が降り注ぐ夏でも、暑さを感じない快適なスペースに。親子で肩を並べて利用できる長尺なのもポイントですが、「コロナ禍でのリモートワークに重宝しています」